



センターだより

各務原市少年センター発行

令和7年度 第3号

令和7年8月1日

P1

暑中お見舞い申し上げます。日頃は少年センターの青少年健全育成のための活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

第2回中学校区別補導委員研修会

6月26日・27日・30日・7月1日



補導委員の皆様方には、ご多用の中、研修会にご出席をいただきありがとうございました。

前半の全体会では、研修と現在までの補導活動状況の説明、後半の校区別研修会では、夏季特別補導についての確認、学校の様子や校区で共通理解したいことの交流が行われました。

講 話「最近の気になるトピックス」

各務原市少年センター 専任補導員 鈴木英已

マルハラ LINEなどのチャットで、文章の最後に「。」を付けると、若者世代に威圧感や冷たさを与えてしまう現象をいいます。

☛「マルハラ=くだらない」という意見もありますが、こういった捉え方もあると理解しておくことが、職場や友人間でのコミュニケーションを円滑に進めることに繋がるのかもしれません。



ありがとう。
〇〇しておいて。



学校におけるジェンダーレスの取組 「さん」づけの呼称、「女(男)の子らしくしなさい」と固定概念に基づいた指導をしない、制服の変更、男女混合名簿など

☛ 個人の多様性を尊重し、平等な機会が与えられるようにする学校の姿勢の表れであり、自分らしく生きることを大切にしたい指導がされています。

部活動の地域移行 少子化による生徒数の減少、教員の働き方改革、専門的な指導が受けられる体制などの課題を解決し、今後も充実した活動が続けられるよう、学校部活動を地域に移行する取り組みが全国的に行われています。

各務原市では、まず休日の部活動から、保護者会やスポーツ協会が主体となり、地域の社会人指導者による活動(地域移行)が進められています。

☛ 地域移行に向けて、様々な課題が出てくることが予想されます。充実した中学校生活を送ることができるよう、子ども達のためになる改革を期待します。

～子どもを理解する一助となる研修内容でした～

目次

第2回中学校区別補導委員研修会

P1

6・7月の活動報告

P2





6・7月の補導活動より (補導日誌から抜粋)

那加中校区

◆参加者4名でいつものルートにて巡回を行いました。桐野公園では、子どもから大人まで20数名ほど、ボール遊びや砂遊び、自転車で遊ぶ子たちでにぎわっていました。ゴミ拾いをしながらすれ違う子どもに挨拶を交わすと快く挨拶が返ってくる状況の中、相変わらずですが、ベンチ周りにはたばこの吸殻等沢山拾う状況でもありました。



桜丘中校区

◆蒸し暑いことから、屋外の補導を取りやめ、車でイオンモール各務原に移動した。雨上がりの日曜日で、父の日でもあり、店内は大混雑をしていた。フードコートのテラスには3名の中学生が飲食をしており、声をかけたらびっくりした様子だったが、特に不審な様子もなかった。ゲームコーナー「モーリーファンタジー」は満席の状態で、子どもからシニアまでゲームに興じていた。

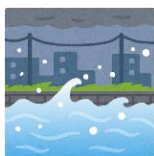
稲羽中校区

◆センターだよりに水遊びのことが書いてあったので、各務原大橋の下を巡回しました。川へ直接降りていける所があり、少し危ないと思いました。7人程の成人の方々が川遊びをしていました。その他は異常ありませんでした。



緑陽中校区

◆ファミマ近くの木曽川河畔を堤防から眺めたが、今日は誰も来ていないようだった。木曽川は直前までの雨で濁流が流れて、なかなかすさまじい眺めであった。桜木公園近くからも、堤防から木曽川を眺めたが、人影はなかった。中学校での注意がきいているようだ。木曽川の流れが激しかったので、川辺は念入りに巡回した。



川島中校区

◆17時でも明るく、確認しやすかったです。気温も高く、汗ばむ状況でした。川島内の公園神社を見回りましたが、人の姿はありませんでした。日陰の場所が少なく、熱中症を避ける為の場所がないと思います。



鶴沼中校区

◆大雨の中の巡回となりました。そのため屋内を中心に巡回しました。坂祝バイパス地下道では、緑陽グループさんとぼったりお会いしました。ゴミ袋を持参して巡回されていて、次回は私も持参したいと思います。



蘇原中校区

◆補導活動前に小雨が降ったためか、いつもより公園で遊ぶ子が少ないように感じた。しかし、その分、普段は小学生がボール遊びをしてにぎやかな公園でも親子連れの小さな子が安心して遊んでいる様子が印象的だった。幼児の兄弟だけで遊んでいる公園もあり、声をかけるとずっと話してくる女兒もいた。大人に対して物怖じすることなく話す様子は子どもらしいが、子どもだけで遊んでいるため、不審者にも同様に接するのではないかと心配になった。

中央中校区

◆アピタ1F「草叢」のトレーディングカードコーナーは満席なるも、小・中学生の組、姿なし！めずらしいと思いました。2Fゲームセンター「ハローズガーデン」の入口柱に「18時以降は声をかけさせてもらう」との看板が掲げられていた。少年センターとの時間は違うが、子ども達に声をかけようとする店の姿勢はよいことであり、感謝の意を店員に伝えた。

